

【活動方針・重点課題】

新型コロナウイルス感染症の発生から4年が過ぎ、感染症法上の扱いは昨年5月、5類に変更になり、様々な制限、制約はなくなりました。昨年度の士会事業は、これにより、ほぼ予定通りに実施することができ、中止・延期になるものはなくなってきました。生涯学習プログラムをより推進すべく、今年度は、この間、培ってきたオンラインやハイブリッドの利点を活かしつつ、参加のしやすさや事業効果を勘案しながら、対面での開催を中心に運営を進めてまいります。

昨年度、本会は創立55周年を迎え、総会、北海道理学療法士学術大会にて記念表彰式を開催しました。これまで長きに亘り、本会の発展、名誉に大きく貢献いただいた方々への表彰と共に、理学療法士として、その知識、技術を生かし、様々な活動をされてきた会員も含まれていました。私たちの活動の場は、それぞれが所属する病院や施設はもとより、地域包括ケアシステムにおける介護予防事業、地域ケア会議、学校保健や部活動のサポート、スポーツ現場でのメディカルサポート、企業における転倒予防や腰痛対策、被災地でのリハビリテーション支援等、新たな分野へも広がりを見せています。これらが、当たり前の業務として私たち自身、また、広く社会に認識され、多くの会員が関与していけるような人材育成や啓発活動を検討します。

これまで、札幌支部再編を検討してきましたが、まず、現在の各部局の分掌を見直し、事業の一部を札幌支部に移管し、支部事業として実施してもらうことで、再編のひとつの目的である札幌支部の活動を増やし、活性化を図ることができないかを考えていきます。分掌の見直しについて、学術局、教育局においては、対象者や事業内容を整理、勘案し、新たな部の創設も含め検討していきます。社会局、職能局の関連では、地域共生社会を見越した、部の再編・統合や企画運営の再考を行います。また、士会活動に関する広報、情報発信、情報収集のあり方については、多くの会員、社会につながる方法を模索してまいります。災害リハビリテーション、地域包括ケアについては、北海道リハビリテーション専門職協会(HARP)との役割分担を明確にし、本会では介護予防や地域ケア会議、災害リハ支援に従事する会員への啓発、研修、育成を主に、実務の窓口はHARPが担い、且つ本会会員はHARPの会員でもあることを理解いただけるよう努めていきます。スポーツ支援においては、パラスポーツも含め、現在の人材バンクの管理方法を検討し、年齢や男女を問わず、より多くの会員が地域のスポーツ活動支援に参加できるよう進めてまいります。

昨年度は、理学療法士の処遇改善のために、北海道理学療法士連盟と連携し、要望書の提出や懇談等、政治との関わりの場も持ちました。引き続き、自分たちの職域や処遇を守るためには、政治について理解し、共に進んでいくことの意味を多くの会員に伝える機会を設けてまいります。

今年度も新たな事業も含め、積極的に取り組んでまいりますので、会員の皆様の一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

1. 士会組織の分掌及び局・部の再編

現在、士会組織は7つの局、15の部で構成されており、様々な事業を展開しています。札幌支部の再編を検討していく中で、これまでは局、部が担ってきた事業の内、札幌支部に移管し、支部として実施することで効率的、且つ、札幌支部の活性化につながる活動は何なのかを検討整理します。合わせて、士会として実施すべきこと、支部で開催することが求められることを明確にし、全道において会員、地域住民にとって、効果的な事業運営のあり方を示していきます。

2. 生涯学習システム、学術・教育活動の推進

新生涯学習システムが始まり、2年になります。各施設を中心に開催される士会承認研修会や士会承認症例検討会が非常に増えており、新制度は順調に浸透してきているようです。本年も生涯学習システム説明会を開催し、更に多くの皆様に制度を理解いただけるよう進めてまいります。また、学術局、教育局を中心に支部も含め、臨床能力を高め、新入会員の確実な前期・後期研修の実施や登録理学療法士、認定・専門理学療法士の取得や更新が円滑に進むよう、対面、オンライン、ハイブリッドを有機的に組み合わせた講習会、研修会の実施を目指していきます。

3. 地域包括ケアシステム関連事業、装具相談窓口事業、健康経営サポート事業の推進

地域包括ケアシステム関連事業は、北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）で受託している地域リハビリテーション指導者養成等事業の地域ケア会議アドバイザー養成研修や介護予防アドバイザー養成研修、地域リハビリテーション連携強化研修会、地域包括ケア推進部の推進リーダー導入研修会や地域ケア会議リーダー導入研修会の受講を積極的に進めます。更に受講後の派遣に繋がるよう HARP、行政と連携してまいります。

日本義肢装具士協会北海道支部と連携協定を結んだ装具相談窓口事業は、いよいよ今年度より、準備のできた支部から実際の相談対応を開始し、生活期装具ユーザーを支援してまいります。

北海道産業保健総合支援センターを介し、昨年度から進めてきた、企業を対象とした健康経営サポート事業は、職域拡大に寄与すべく、実務に繋げていく予定です。

4. スポーツ支援の活動範囲の拡大と人材バンクの整備

これまでも北海道マラソン救護班や各支部での高野連メディカルサポート等を実施してきましたが、今後のスクールトレーナー制度を見据え、学校保健分野、部活動や学校体育へのサポート、パラスポーツ支援における理学療法士の活動の啓発等、スポーツ支援の活動範囲の拡大をめざすと共に、人材バンクの整備を進めます。

5. 北海道理学療法士連盟との連携強化、政策提言の推進

理学療法士の処遇改善、職域維持・拡大のためには政治との関わりは欠かせません。昨年度に引き続き、北海道理学療法士連盟と連携し、国政や道政に対し、理学療法士に関わる政策を伝え、実現できるよう、進めると共に、支部においても、多くの会員にこれらにより関心を持ってもらえるよう活動してまいります。

《令和6年度重点事業計画》

1. 士会組織の分掌及び部・局の再編
2. 生涯学習システム、学術・教育活動の推進
3. 地域包括ケアシステム関連事業、装具相談窓口事業、健康経営サポート事業の推進
4. スポーツ支援の活動範囲の拡大と人材バンクの整備
5. 北海道理学療法士連盟との連携強化、政策提言の推進

令和6年度（2024年度）事務局事業計画

事務局

局長

小林 巧

【活動方針・重点課題】

新型コロナが5類に移行し、様々な制限が解除されたことで、対面での事業が増えてきた一方で、コロナ禍における新たな事業開催方法としてのweb開催も継続されており、事務局としては、そのどちらにも対応できるよう、可能な限り各部局、支部の意向を踏まえた援助を行なってまいりたいと思います。

コロナ禍においては事業中止などの影響から新入会の入会率が低下していましたが、コロナ禍明けの現在、徐々に回復傾向にあります。引き続き、養成校や就職先への働きかけを実施してまいりたいと思います。

事務局で所管している定時総会および新年交礼会については、近時の状況により開催方法あるいは開催可否を検討し、適切な時期にお示しいたします。また、事務局として、士会事業がより円滑に実施可能となるよう事務処理機能の強化、業務内容の整理、各種規定等の見直しなどを実施していききたいと思います。併せて、他局と共同して業務分掌の見直しなども行なってまいりたいと思います。

例年同様、北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）の基金事業並びに市町村からの委託事業に関する事務処理も対応していきます。

事務局として、各部局、支部の活動が円滑に進むよう支援してまいりたいと思います。

【各部事業】

〈総務・財務部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・行政等が設置する各種諮問委員会等への委員の派遣推薦事務
- ・専門職派遣事業
- ・北海道リハビリテーション専門職協会介護予防事業支援（札幌市分）
- ・フレイル改善マネージャー活動の効果分析等業務（札幌市委託業務）

《公2：学会・研修会支援事業》

- ・事前参加システム決済代行支援
- ・事業稼働日当交通費支払業務

《その他事業》

- ・事務局会議
- ・学術奨励基金（学術奨励賞、社会分野奨励賞、養成校優秀賞）
- ・メルマガ配信事業（緊急時のFAX通信を含む）
- ・常設委員会、特別委員会
- ・新人歓迎会支援
- ・会計部長業務支援
- ・監督官庁・関連団体との渉外活動
- ・代議員総会の企画運営
- ・理事会、常任理事会、三役会議
- ・法人監査
- ・文書管理（発行文書、受領文書、会議録、議事録、報告書など）
- ・会員管理（異動、慶弔、主催共催事業参加状況など）
- ・他部局支援（受講受付、発送業務、集計業務、ニュース校正支援など）
- ・財務管理（財務執行、予算、事業支出・収入、会費、租税公課、補助金など）
- ・新年交礼会の企画運営
- ・ホームページ管理

【関係団体協力事業】

- ・北海道総合在宅ケア事業団への協力及び事業参加
- ・北海道医療・福祉関係機能団体等意見交換会への参加協力

- ・北海道医療技術者団体連絡協議会への参加協力
- ・北海道肢体不自由児者福祉連合協会への参加協力

令和6年度（2024年度）学術局事業計画

学術局

局長

橋田 浩

【活動方針・重点課題】

学術局では新生涯学習制度について、教育局や各支部との学術・教育部担当者と連携を図りつつ会員の皆様の新生涯学習制度への周知を進めて参ります。

令和5年度においては学術局事業全般において対面を主に事業展開いたしました。学会研修部では、第74回北海道理学療法士学術大会はハイブリッド開催（現地開催、ライブ配信、オンデマンド配信）とし現地では500名を超える参加者を得ることができました。また、全道学術研修大会を道南、道北の2支部で開催いたしました。なお、平成4年度より開催して参りました全道学術研修大会につきましては、令和5年度開催を持って開催終了とさせていただきます。専門領域部事業についても、対面事業による技術講習会を実施いたしました。こちらは参加者数が伸び悩む事業がありました。令和6年度は学術局事業においては対面での事業運営を進め、学術大会、技術講習会を開催致します。技術講習会においては参加人数の増員を目指し魅力ある技術講習会の展開や広報活動、参加費の見直しなどを図りたいと考えます。また、これまで紙媒体で提供してきました学術大会プログラムや、学術誌についてはデジタル化を予定しています。学術誌部においては「北海道理学療法第41巻」の編集、発刊作業を行い、会員の研究成果報告や症例報告の機会を提供するとともにより投稿しやすい環境を整えて参ります。

学術局共通においては1)教育局との合同会議ならびに各支部の学術教育部担当者ととの会議を開催いたします。学会研修部においては、1)学会研修部会議の開催、2)学術大会の開催および開催計画支援、3)学術大会演題登録・査読システムの活用による質の高い発表内容の充実、4)学会運営の担当や負担軽減について検討致します。学術誌部においては、1)学術誌部会議による投稿者数の増大の検討、2)編集会議による投稿規定の見直し、3)北海道理学療法第41巻の編集・発刊作業を致します。専門領域部においては、1)技術講習会の運営、2)新生涯学習制度を考慮した技術講習会の企画立案を進めて参ります。

【各部事業】

〈学術局共通〉

《公2：学術振興事業》

- ・学術・教育局合同会議
- ・学術・教育局・各支部学術教育担当者会議

〈学会研修部〉

《公2：学術振興事業》

- ・学会研修部会議
- ・第75回北海道理学療法士学術大会（日胆支部）の開催支援
- ・第76回北海道理学療法士学術大会（未定）の開催計画支援
- ・第77回北海道理学療法士学術大会（未定）の開催計画支援
- ・学会間の引継ぎ支援
- ・学術大会開催担当支部の検討

《収1：機器展示事業》

- ・第75回北海道理学療法士学術大会機器展示

〈学術誌部〉

《公2：学術振興事業》

- ・学術誌部会議
- ・北海道理学療法第41巻の編集・発刊作業（第41巻）

〈専門領域部〉

《公2：学術振興事業》

- ・専門領域部会議
- ・各専門領域の技術講習会開催（第247回～258回）

第 247 回技術講習会「肩関節機能解剖に基づく理学療法」(2024 年 6 月～10 月)

第 248 回技術講習会「福祉用具を用いたトランスファーと車椅子シーティング(仮)」(2024 年 7 月～9 月)

第249回技術講習会「膝のスポーツ外傷・障害の理学療法」(2024年9月～10月)

第 250 回技術講習会「急性期～回復期における片麻痺者への長・短下肢装具療法」(2024 年 7 月～9 月)

第 251 回技術講習会「神経難病患者に対する制度活用と生活支援について」(2024 年 11 月～12 月)

第 252 回技術講習会「ランニング障害の診かた」(2024年9月～10月)

第 253 回技術講習会「片麻痺の評価と治療～姿勢制御に基づくアプローチ～」(2024 年 9 月～10 月)

第 254 回技術講習会「小児急性期医療領域における理学療法介入」(2024 年 11 月 23 日～24 日)

第 255 回技術講習会「心大血管リハビリテーション」(2024 年 11 月～2025 年 2 月)

第 256 回「呼吸リハビリテーション」(2024 年 11～2025 年 2 月)

第 257 回「糖尿病重症化予防における理学療法」(2024 年 11 月～2025 年 2 月)

第 258 回技術講習会「地域リハビリテーション活動支援に必要な理学療法士の理論と技術(仮)」(2024 年 6 月～11 月)

令和6年度（2024年度）教育局事業計画

教育局

局長

高橋 尚明

【活動方針・重点課題】

教育局は、教育部および職域教育部の2部が会員の生涯学習のサポートを行う部局として活動を行っております。

教育部は、日本理学療法士協会の生涯学習システムに合わせて、基礎知識の確認と応用につなげるための講習会の企画から実施、管理まで行っていきます。さらに会員個人レベルの自発的な学習の援助や施設レベルでの研修会、講習会を推進していくことにより、士会、支部、施設、個人までの生涯学習が円滑に進む様な管理補助を含むサポートを行っていくことを目指します。

職域教育部は、北海道内のスポーツサポートと介護予防を中心に健康スポーツ局を始めとする他局とも協働しながら人材を育成していく若手育成事業としての運営を目指します。

事業予定として、教育部は今年度実施した臨床実践基礎講習会を一部の領域を変更しつつも同じく7領域での開催を予定しています。新生涯学習システム関連では、前期研修の初期研修（従来の新人教育プログラム必須初期研修会）を札幌市内で対面方式にて開催し、卒後の研修会参加のきっかけにして頂く予定です。また、臨床実習指導者講習会の開催は3回とし、全国リハ学校協会北海道ブロックとも協力し、次年度は資格取得後のサポートについても検討したいと考えています。生涯学習システム説明会に関しても昨年同様、継続事業として実施予定です。

職域教育部は、介護予防関係や道内スポーツ関連への傷害予防に向け、人材育成をはかるためスポーツ支援育成講習会3本と健康支援育成講習会1本を実施する予定です。

いずれの部の事業に関しても2024年度は、教育部では、全道会員を対象としたオンラインもしくはハイブリッド方式での開催を基本とし、職域教育部では対面またはハイブリッドによる開催を進めていける様に準備を進めていきます。

また、理学療法士養成に関わる指定規則が変更となり4年が経過した事を踏まえ、卒前ならびに卒後の臨床教育体制を再構築していく必要性が高まっております。その背景を踏まえ、教育局では2024年内に臨床教育に関わる「臨床教育部」を新設し、臨床教育に関するサポートしていきたいと考えています。臨床教育部では、卒前教育への関わりとして臨床実習指導者講習会の開催、ならびに資格取得後の指導方法の向上に向けた研修会や卒後教育としての後輩指導に必要な研修会等の企画の検討を行いたいと考えます。

【各部事業】

〈教育局共通〉

《公2：学術振興事業》

- ・教育局共通事業 研修・講習会に使用するPC関連備品や通信システムなど

〈教育部〉

《公2：学術振興事業》

- ・教育部会議

臨床実践基礎講習会（7本）

脳卒中	受講定員 60名
神経筋	受講定員 60名
運動器	受講定員 60名
呼吸	受講定員 60名
心臓	受講定員 60名
がん	受講定員 100名
小児	受講定員 60名
臨床実習指導者講習会（3回開催）	受講定員 240名

《その他事業》

- 新生涯学習システム会員説明会（3回開催） Webまたは対面形式

新人教育初期研修
臨床指導者サポート事業

受講定員 200 名

〈職域教育部〉

《公 2 : 学術振興事業》

- ・ 職域教育部会議
- ・ 第 37 回スポーツ支援講習会 受講定員 60 名
- ・ 第 38 回スポーツ支援育成講習会 受講定員 60 名
- ・ 第 39 回健康支援育成講習会 受講定員 60 名
- ・ 第 22 回健康支援育成講習会 受講定員 60 名

令和6年度（2024年度）社会局事業計画

社会局

局長

杉原 俊一

【活動方針・重点課題】

社会局は理学療法士と社会（地域）、双方の窓口として、理学療法士が専門知識・技術をもって社会貢献する会員を支援するとともに、理学療法（士）の啓発を行うことに主眼をおいて活動しております。

今年度のトリプル改定により地域包括ケアの上位概念である地域共生社会の実現に向けた動きが進むと予想され、2040年を見据えた地域包括ケアシステムの更なる深化・推進に向けた活動が重要になってまいります。医療と介護の複合ニーズが一層高まる中、人口減少や医療介護従事者不足等の課題も加わり、各支部、地域毎に異なる課題が想定され、多様なニーズに対応することが求められてきます。そのため、地域における「つながり」を構築し、自分の暮らす地域をより良くしたいという意識の醸成へ繋がるような事業展開を目指します。また、「支え手」「受け手」という関係を超え、我々理学療法士だけでは達成できないことを地域の中で他者と協力して達成できるよう、我が事として地域（社会）に対する参画する会員の支援をおこなって参ります。

【各部事業】

〈社会局共通〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・社会局会議

〈介護予防・健康増進支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・介護予防・健康増進支援部会議
- ・いきいき健康・福祉フェア2024への企画参入と出展
- ・けんこうフェスタへのスタッフ派遣
- ・STVラジオ「工藤じゅんきの十人十色」健康一口メモコーナー出演講師派遣・調整
- ・介護予防・健康増進関連事業へのスタッフ派遣・調整

〈企画推進部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・企画推進部会議（社会分野小委員会を含む）
- ・支部社会部長・社会局合同会議
- ・理学療法週間事業（支部との連携・支援・広報物品の調整）
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展への出展
- ・会員向け啓発セミナー（パッケージ制作と周知）

〈広報部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・広報部会議
- ・啓発用リーフレットの作成
- ・健康関連情報の発信

《公2：学術振興事業》

- ・士会ニュース「Northerner」の編集・発行
- ・士会ニュース取材・撮影

〈災害リハビリテーション支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・災害リハビリテーション支援部会議
- ・大規模災害発生時マニュアルの作成

[災害時会員安否確認システムの構築、普及啓発活動（勉強会、情報提供、資料・動画の作成、提供）、災害時支援者名簿の作成]

《公2：学術振興事業》

- ・災害リハビリテーション支援部研修会（初期研修）
- ・災害リハビリテーション支援部研修会（導入研修）
- ・災害リハ支援従事者の育成事業
 - ① JIMTEF 研修への会員派遣
 - ② 北海道災害派遣福祉チーム（DWAT）研修への会員派遣
- ・支部社会部事業支援（支部社会部等の災害リハ実技研修会時のアシスタント派遣・調整、郵送費補助等）

令和6年度（2024年度）職能局事業計画

職能局

局長

千葉 恒

【活動方針・重点課題】

職能局では、本会が重点課題として掲げている地域包括ケアシステム推進の支援および管理者ネットワークの有効的な活用に向けた活動を継続して行います。また、会員への職能に関する情報提供を充実させていくためにも、職能局事業と支部職能部事業の情報共有を図り、局と支部が協同しながら活動していけるよう支援していきます。今年度より職能局事業の一部を札幌支部職能部へ移行し、支部職能部が主体的に活動していけるよう支援していきます。

管理者育成推進部では、管理者ネットワークの構築ならびに双方向による活用方法の検討を重点課題の一つとして掲げ、活用を検討していきます。また、管理者情報交換会も継続し、管理者同士が主体的に情報交換できる場を提供していきます。協会指定管理者研修会も継続して、開催していきます。

職域事業部では、昨年度より新設した健康経営サポート事業は、北海道産業保健総合支援センターと連携したことで、今年度より一般企業を対象とした支援活動として実務を開始していく予定です。今後の理学療法士の職域拡大の一助となり得るかを検討しながら進めていきます。併せて、社会・医療関連、職場環境等の情報収集、会員の職能関連施策に関する視野の拡大を図る活動も継続していきます。養成校の学生を対象とした介護保険領域の講話や実習指導者ワークショップを通して、介護保険領域の職場の魅力や情報共有を図る活動も継続していきます。また、今年度より女性会員が働きやすい職場環境や活躍できる場を推進していく機会を検討する女性活躍推進事業を新設しました。これまで、妊娠中や子育てしながら働く理学療法士への支援の一環として、ホームページへの情報提供やワークショップを開催してきましたが、これらの事業も継続しながら、更なる充実を目指していきます。また、今後少しずつ増加していくことが予想される定年退職後の理学療法士の働き方に関する調査も行い、情報を提供していきます。そのほか、昨年度の北海道理学療法士学術大会のなかで実施した道士会事業報告会、会員がより身近に感じられるよう支援する政策推進事業も新設しました。

地域包括ケア推進部では、会員への地域包括ケアシステムに対する啓発と、地域における介護予防やケア会議への参加を担う人材への研修を、今年度も継続していくとともに、研修会を受講した後、実際の介護予防の現場につながるような支援を、行政関係者やHARPと連携しながら進めていきます。また、装具相談窓口推進事業は、各地域における装具に関するワンストップ窓口を各支部に設立し、義肢装具士にアドバイザーとして紹介してもらい、専門職同士が連携することで、生活期装具ユーザーの問題を解決していくという仕組みづくりが完成しつつあります。準備の整った支部より順次相談対応を進めていきます。

【各部事業】

〈職能局共通〉

〈その他事業〉

- ・職能局部長会議
- ・職能局支部職能部長会議

〈管理者育成推進部〉

〈その他事業〉

- ・管理者育成推進部会議
- ・施設管理者ネットワーク構築事業
- ・施設管理者ネットワーク活用事業
- ・協会指定管理者研修会（初級）
- ・会員動向把握事業

〈職域事業部〉

〈公1：健康増進事業〉

- ・健康経営サポート事業

〈その他事業〉

- ・職域事業部会議
- ・復職支援に向けた検討会議
- ・妊娠中や子育てしながら働く理学療法士対象ワークショップ
- ・理学療法士の職域偏倚緩和事業
- ・養成校での介護保険領域の講話
- ・介護保険事業所での実習指導者ワークショップ
- ・既卒者向け生活期ワークショップ
- ・理学療法士の職域拡大に向けた啓発事業（インタビュー）
- ・理学療法士の職域拡大に向けた提案事業（ウィメンズヘルス研修）
- ・理学療法士の定年後の働き方に関するインタビュー
- ・ベテランPT人材バンク事業
- ・職能に関する情報提供事業
- ・道士会事業報告会
- ・女性活躍推進事業
- ・政策推進事業

〈地域包括ケア推進部〉

《公1：健康増進事業》

- ・装具相談窓口推進事業

《公2：学術振興事業》

- ・地域包括ケア推進部会議
- ・介護予防推進リーダー導入研修会
- ・地域包括ケアを学ぼう
- ・地域包括ケアを学ぼう（中級編）
- ・地域包括ケア研修会（中堅・管理者）
- ・地域ケア会議リーダー導入研修会
- ・装具ユーザーのフォローアップに関する研修会

令和6年度（2024年度）健康スポーツ局事業計画

健康スポーツ局

局長

佐藤 義文

【活動方針・重点課題】

健康スポーツ局は、人生（ライフステージ）で運動習慣を支援・啓発する「生涯スポーツ支援部」と障がいを持った方への適切な運動を支援・啓発する「障がい者スポーツ支援部」の2つの部で構成され、地域健康保健に寄与することを目的としています。

生涯スポーツ支援部は、昨年に引き続き、スポーツ領域での地域健康保健に寄与してまいります。北海道マラソン救護班や高野連メディカルサポート活動の支援を継続、スポーツ局人材バンクを通じて、関連事業へのスタッフ派遣も継続します。昨年好評だった、女性アスリートへのメディカルサポートとそのため研修会も企画していきたいと思ひます。更に、スクールトレーナー制度開始を見据え、学校需要などのリサーチも行っていきたいと思ひます。

障がい者スポーツ支援部は、地域のパラスポーツ活動を支援する他、パラスポーツ分野で活躍する理学療法士の情報管理や派遣調整を行い、地域健康保健に寄与できるよう活動してまいります。昨年に引き続き、道内のパラスポーツイベントに出向き参加者のサポートをすること、またパラスポーツでの理学療法士の活躍を紹介するなどの情報配信などを継続します。併せて、障がい者スポーツ支援部の人材バンクの整備も強化します。

各部共通の課題として、人材バンクの管理方法（各部ごととするか、共有化していくか）を検討していきたいと思ひます。また、各部主催の研修会では若手を含む、各年齢層の理学療法士にも参加の場を提供するとともに、公益社団法人日本理学療法士協会新生涯学習制度も考慮し、ポイント取得できるような枠組みを作っていきたいと思ひます。

【各部事業】

〈健康スポーツ局共通〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・健康スポーツ局会議
- ・支部健康スポーツ支援部長会議

〈生涯スポーツ支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・生涯スポーツ支援部会議
- ・北海道マラソン救護班活動支援事業
- ・高野連メディカルサポート支援事業（高野連メディカルサポート連絡協議会への参画）
- ・スポーツ関連へのスタッフ派遣調整事業（学校保健等の調査事業を含む）
- ・派遣支援情報ネットワーク構築事業
（女性アスリートはじめスポーツ系講習会企画運営を含む）

〈障がい者スポーツ支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・障がい者スポーツ支援部会議
- ・パラスポーツ関連へのスタッフ派遣調整事業
- ・パラスポーツ関連への調査事業
- ・パラスポーツ関連への派遣支援ネットワーク構築事業
（パラスポーツ web ミーティングや講習会の企画運営を含む）

令和6年度（2024年度）支部事業局事業計画

支部事業局

局長

阿部 隆宏

【活動方針・重点課題】

支部事業局は、各支部の事業計画や予算の立案と状況に応じた修正、決算報告などを支援します。令和6年度も昨年度までに引き続き、対面開催やweb開催（ハイブリッド開催を含む）による事業を推進し、各支部に応じた学術・教育活動、社会・職能活動が円滑に行われるように支援します。また、支部と事務局との連携、支部と他局との連携、支部間の連携強化を図り、全道均一のサービスが展開されるように支援します。

【支部事業局共通】

《公2：学術振興事業》

- ・拡大支部事業局会議（開催時期未定、年2-4回を予定）

【各支部事業】

〈道南支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道南支部健康スポーツ部会議（年6回予定）
- ・道南支部社会部会議（年3回）
- ・高野連メディカルサポート事業（年3回 春、夏、秋大会）
- ・道南支部理学療法週間事業（函館市NPOまつり出展参加）
- ・道南支部健康安全運転講座（春・秋）
- ・函館マラソンメディカルサポート事業
- ・ベースボールフェスティバル障害予防事業
- ・南渡島地域リハビリテーション推進会議
- ・函館蔦屋書店 未来づくりマルシェ『人とつながる、未来とつながる』（11月頃開催予定）

《公2：学術振興事業》

- ・道南支部役員会議：4回（4月、7月、10月、1月）
- ・道南支部学術部会議：年5回（5月、7月、9月、11月、1月予定）
- ・道南支部教育部会議：年5回（4月、6月、9月、12月、2月予定）
- ・道南支部症例検討会：年4回（5月、8月、11月、2月予定）
- ・道南支部教育部研修会：第1回～第4回（5月、9月、11月、1月予定）
- ・第10回 道南理学療法士学術大会（6月～9月）
- ・第6回 道南理学療法士学術研修大会（11～2月）
- ・道南支部社会部研修会：年2回（第1回：6～8月、第2回：9～12月）
- ・道南支部第1回健康スポーツ部研修会「スポーツ支援スタッフ育成講習会（仮）」
- ・道南支部第2回健康スポーツ部研修会「テーマ未定」

《その他事業》

- ・道南支部職能部会議：年3回（5月、9月、1月開催予定）
- ・道南支部第1回職能部研修会：「理学療法士の職能に関する研修会（仮）」（7～9月開催予定）
- ・道南支部新人歓迎会：（6月～10月）

〈日胆支部〉

《公1:医療保健福祉事業》

- ・日胆支部各種派遣事業（西胆振地域リハビリテーション推進会議ほか）
- ・日胆支部理学療法週間事業（伊達市ふれあい広場 2024 ブース出展、市民公開講座）
- ・日胆支部高野連メディカルサポート事業 3回（高野連室蘭地区大会 春季・夏季・秋季）
- ・日胆支部 社会部会議 1回
- ・日胆支部 健康スポーツ部会議 1回

《公2:学術振興事業》

- ・日胆支部 災害リハビリテーション研修会
- ・日胆支部 研修会 4回（室蘭2回、伊達1回、日高1回）
- ・日胆支部 症例検討会 2回（室蘭1回、地区合同1回）
- ・日胆支部 役員会 2回
- ・日胆支部 地区運営委員会 8回（苫小牧・室蘭・伊達、日高 各2回）

《その他事業》

- ・日胆支部 職能部研修会 1回
- ・日胆支部 職能部会議 1回
- ・日胆支部ニュースの発行 2回
- ・人胆支部 事務部会議 1回
- ・日胆支部 新人歓迎会 2回（苫小牧・室蘭）

〈札幌支部〉

《公1:医療保健福祉事業》

- ・札幌支部健康スポーツ部会議（年3回）
- ・札幌支部社会部会議（年3回）
- ・清田区健康&介護予防フェア（10月頃）
- ・札幌支部理学療法週間事業（7月）
- ・札幌支部高野連メディカルサポート：年6回（札幌支部予選、全道・南北海道大会：春季、夏季、秋季）

《公2:学術振興事業》

- ・第11回札幌理学療法士学術大会（2月）
- ・札幌支部研修会：（第1回～第3回）年3回
- ・札幌支部役員会：年3回
- ・札幌支部学術教育部会議：年3回
- ・札幌支部事務部会議：年3回
- ・札幌支部症例検討会：年1回

《その他事業》

- ・札幌支部職能部会議：年3回
- ・札幌支部地区懇談会（随時）

〈石狩支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・石狩支部社会部会議：年4回（4月・8月・10月・2月）
- ・石狩支部理学療法週間 高校生理学療法見学・体験（7月～8月）
- ・北広島市元気フェスティバルへの協賛（10月または11月）
- ・千歳市健康祭りへの協賛（9月14日または2月8日）
- ・石狩支部健康スポーツ部会議 年3回（4月～3月）
- ・石狩支部健康スポーツ事業 スポーツ教室（年1回）

《公2：学術振興事業》

- ・災害リハビリテーション研修会（年1回：12月～2月）
- ・石狩支部症例検討会 対面2回・WEB1回／年3回（5月～2月）
- ・石狩支部講習会 年2回 6月1日（土）、8月4日（日）
- ・石狩支部学術教育部会議（年4回）
- ・石狩支部役員会議：年6回（4月・6月・8月・10月・12月・2月）

《その他事業》

- ・石狩支部新人歓迎会（6月）
- ・石狩支部事務部会議：年3回（4～12月）
- ・石狩支部 3士会合同研修会：年4回（8～12月）
- ・石狩支部職能部会議：年3回（4～10月）

〈後志支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・後志支部社会部会議（年2回）
- ・後志支部健康スポーツ部会議（年3回：6月、10月、1月）
- ・後志支部理学療法週間事業～介護予防教室（7～8月2ヶ所予定）
- ・後志支部健康スポーツ支援事業（7～10月、2～3月）
- ・後志支部各種派遣推進事業
- ・後志地域リハビリテーション広域支援センターへの協力（協賛金納入他）

《公2：学術振興事業》

- ・後志支部第1回研修会（7～12月）
- ・後志支部第2回研修会（7～12月）
- ・後志支部役員会議（年3回；4月、8月、12月予定）
- ・後志支部学術教育部会議（年3回）
- ・後志支部健康スポーツ部研修会（年1回5～2月）

《その他事業》

- ・後志支部職能部会議（年2回）
- ・後志支部第1回職能部研修会
- ・後志支部新年交礼会出席（小樽市医師会、柔道整復師会）
- ・後志支部新人歓迎会（開催予定日・開催形式は検討中）
- ・後志支部事務部・会計部会議（年2回）

〈空知支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・空知支部社会部会議（第1回7月、第2回10月、第3回2月：3回）
- ・空知支部健康スポーツ部会議（第1回7月、第2回10月、第3回2月：3回）
- ・空知支部高校野球メディカルサポート（空知支部予選5月（春季）、7月（夏季）、9月（秋季）：3回）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（滝川市、7月）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（三笠市、7月）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（岩見沢市、9～10月）
- ・ふれあい広場くりやま（栗山町、11月）

《公2：学術振興事業》

- ・空知支部役員会議（第1回8月、第2回11月、第3回2月：3回）
- ・空知支部第1回研修会「認知症に対するアプローチ」（Web開催、5～7月）
- ・空知支部学術教育部会議（時期未定、1回）
- ・第8回空知理学療法士学術大会「慢性腎不全に対する理学療法」（会場未定、11月予定）
- ・災害リハビリテーション研修会（Web開催を予定、1月）
- ・空知支部第1回症例検討会（Web開催を予定、2月）

《その他事業》

- ・空知支部会員相互情報共有事業（4月～3月）
- ・空知支部全体集会（Web開催、6月～7月）
- ・空知支部職能部会議（4～5月、9～10月、計2回）
- ・空知支部第1回職能部研修会：「理学療法士に必要な補装具に関する知識と制度」（会場未定、10月予定）
- ・空知支部新人歓迎会（6月～7月）

〈道北支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道北支部第1回健康増進事業（旭川市健康まつり）（5-9月予定）
- ・道北支部第2回健康増進事業（理学療法週間）（7月）
- ・道北支部健康安全運転講座（6月と9月の年2回、旭川市と士別市で開催予定）
- ・道北支部社会部・健康スポーツ部合同会議（全2回5,9月）
- ・道北支部高野連メディカルサポート事業（旭川/5~9月予定）
- ・道北支部第1回スポーツ支援事業（旭川ハーフマラソン）（9月予定）
- ・道北支部第2回スポーツ支援事業（バーサーロペットジャパン）（3月予定）
- ・道北支部行政関連会議出席（9月,2月）
- ・道北各種派遣推薦事業

《公2：学術振興事業》

- ・道北支部学術教育部会議（全3回5,7,9月）
- ・第7回道北支部理学療法士学術大会（1-2月）
- ・道北支部学術部臨床研究支援（7-2月）
- ・道北支部学術部研究支援研修会（7-9月）
- ・道北支部教育部研修会（全4回 神経系・運動器①、②・内部障害 7,8,9,11月）
- ・道北支部健康スポーツ部研修会（スポーツ支援スタッフ育成研修/11月）
- ・道北支部社会部研修会（災害リハビリテーション関連/5-11月）
- ・道北支部症例検討会（全2回11,12月）
- ・道北支部地区企画研修会（宗谷・富良野・留萌/6-11月）
- ・道北支部役員会議（全4回4,6,9,11月）

《その他事業》

- ・道北支部拡大役員会議（2月）
- ・道北支部会員情報交換会（12月）
- ・道北支部ニュース発行（6回）・編集会議（6回）・ホームページ更新
- ・道北支部関連団体式典参加（北都保健福祉専門学校入学式、卒業式、旭川医師会新春懇親会）
- ・道北支部職能部研修会（全3回8-2月）
- ・道北支部職能部会議（全2回5,9月）
- ・道北支部地区幹事合同会議（9-10月）
- ・道北支部新人歓迎交流会（4~5月）

〈十勝支部〉

〈公1：医療保健福祉事業〉

- ・十勝支部派遣推薦事業：5～3月（帯広市、北海道十勝振興局、講師派遣等）
- ・十勝支部理学療法週間事業（介護予防）：7～8月
- ・十勝支部高野連メディカルサポート事業：5～10月、春・夏・秋季大会への会員派遣
- ・十勝支部帯広市介護予防事業派遣：5～3月、活動支援・普及啓発事業への会員派遣
- ・十勝支部訪問リハビリマップの作成と配布：11～12月
- ・十勝支部障がい者スポーツ支援事業：4～3月
- ・十勝支部こどもの障害予防事業：4～3月
- ・十勝支部社会部会議（年1回）：4～3月
- ・十勝支部健康スポーツ部会議（年2回）：4～3月

〈公2：学術振興事業〉

- ・十勝支部第1回研修会（テーマ：装具）：8～9月、ハイブリッド開催
- ・十勝支部理学療法士学術大会：10～11月、ハイブリッド開催
- ・十勝支部第2回研修会（テーマ：災害リハ）：1月～2月、ハイブリッド開催
- ・十勝支部症例検討会（年2回）：12～1月、ハイブリッド開催
- ・十勝支部役員会議（年5回）：4月～3月（4月、7月、9月、11月、2月）
- ・十勝支部学術教育部会議（年3回）：4～3月

〈その他事業〉

- ・十勝支部会員名簿の作成と配布：8～9月
- ・十勝支部職能部会議（年1回）：4～3月
- ・十勝支部新人歓迎会：5～6月（オンラインまたは対面開催）
- ・十勝支部第3回研修会（テーマ：理学療法士連盟関係）：4～3月、ハイブリッド開催

〈鉏根支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・鉏根支部健康スポーツ部会議（年2回 時期未定）
- ・鉏根支部高野連メディカルサポート（春・夏・秋）
- ・鉏路湿原マラソン大会サポート（7月）
- ・鉏根支部社会部会議（年2回 時期未定）
- ・鉏根支部理学療法週間事業（7月）
- ・くしろ健康まつり（10月）
- ・こう福祉21 厚岸町障害者（児）ふれあいフェスティバル（11月）
- ・市民合同防災イベント
- ・鉏根支部派遣推薦事業

《公2：学術振興事業》

- ・鉏根支部災害リハビリテーション研修会（時期未定）
- ・鉏根支部役員会議（年3回：4, 7, 10月）
- ・鉏根支部学術教育部会議（年2回）
- ・鉏根支部メディカルサポートスタッフ育成支援講習会（4月）
- ・鉏根支部第1回理学療法基礎講習会（時期未定）
- ・鉏根支部第2回理学療法基礎講習会（時期未定）

《その他事業》

- ・鉏根支部事務部会議（年1回 時期未定）
- ・鉏根支部広告宣伝（年4回発行）
- ・鉏根支部職能部会議（年3回 時期未定）
- ・鉏根支部職能部研修会（時期未定）
- ・鉏根支部フォーラム（時期未定）
- ・鉏根支部新人歓迎会（時期未定）

〈道東支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道東支部香りゃんせフェスティバルへの出展(5月～7月予定)
- ・道東支部北見市健康まつりへの出展(7月～10月予定)
- ・道東支部網走市市民健康まつりへの出展(8月～10月予定)
- ・道東支部ハロウィンフェスティバルへの出展(9月予定)
- ・道東支部北見市ふれあい広場への出展(6月～9月予定)
- ・道東支部きたみんと体操普及推進事業(4月～3月)
- ・道東支部理学療法週間事業～フリーペーパーへの投稿(4月～7月予定)
- ・道東支部社会部会議(年5回予定)
- ・道東支部社会部災害リハビリ情報共有会
- ・道東支部地域包括協働事業推進会議
- ・道東支部高校生対象のリハビリテーション見学(4月～10月予定)
- ・道東支部健康スポーツ部会議(年3回予定)

《公2：学術振興事業》

- ・第1回道東支部研修会(6月予定)
- ・第2回道東支部研修会(9月予定)
- ・第3回道東支部研修会(11月予定)
- ・第4回道東支部研修会(2月予定)
- ・第1回道東支部症例検討会(6月予定)
- ・第2回道東支部症例検討会(6月予定)
- ・第3回道東支部症例検討会(6月予定)
- ・道東支部役員会議(年4回予定)
- ・道東支部学術教育部会議(年5回：5、7、9、11、2月予定)
- ・道東支部におけるスポーツ支援活動調査

《その他事業》

- ・道東支部ニュース発行(年3回：6、10、2月予定)
- ・道東支部職能部会議(年5回予定)
- ・第1回道東支部職能部研修会(テーマ：政治活動と理学療法)
- ・第2回道東支部職能部研修会(テーマ：未定)
- ・道東支部リハ職-在宅連携研修会
- ・道東支部新人歓迎会(6月予定)